

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	会計学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 金曜日2時限	教室名	4校舎502
担 当 教 員	芳本 賢治	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>社会人として必要な経済知識を理解しさらに会計の仕組み全体をも理解することで、ドラッグストアや薬店販売員としての潜在能力を高める。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>期中小テストによる評価(70%)／授業態度、出席率など(30%)</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>講師作成レジュメ</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>お金のことに興味を持ち、新聞や週刊誌等でお金の使われ方について理解すること。通信教育等で、簿記3級程度の受講をされたり、中学・高校数学で受講した損益算の復習をすることを期待しています。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>将来、店舗経営や組織人として活躍するために常識としての会計知識を学習しましょう</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業概略と受講成果の意義を理解し、受講意欲をアップできる	講師作成レジュメ		
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、日常生活と自分のキャリアとファイナンシャルプランの関係を理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	利益率、原価率の計算について理解できる	講師作成レジュメ	前回の復習をすること	
		各コマにおける授業予定	中学、高校時代の数学の知識を活用し、利益率や原価率、値入率などを計算する方法について解説し、計算練習する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	利益率、原価率の計算について理解できる	講師作成レジュメ	前回の復習をすること	
		各コマにおける授業予定	中学、高校時代の数学の知識を活用し、利益率や原価率、値入率などを計算する方法について解説し、計算練習する。(1)よりは、未知数がを増やして、理解度を高める。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	利益率、原価率の計算について理解できる	講師作成レジュメ	前回の復習をすること	
		各コマにおける授業予定	中学、高校時代の数学の知識を活用し、利益率や原価率、値入率などを計算する方法について解説し、計算練習する。(2)よりは、実務的な問題を増やして、理解度を高める。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「利益率、原価率の計算」理解度について把握できる	講師作成レジュメと 小テスト	前回の復習をすること	
		各コマにおける授業予定	理解度を確認するため、小テストとその解説をする。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	損益分岐点分析について理解できる	講師作成レジュメ	前回の復習をすること
		各コマにおける授業予定	損益分岐点を、企業の財務諸表を活用して分析の上、どのように改善すればよいのか、その練習をする。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	損益分岐点分析について理解できる	講師作成レジュメ	前回の復習をすること
		各コマにおける授業予定	損益分岐点の様々なタイプの練習問題を学習することで、損益分岐点の理解度を高める。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	損益分岐点分析の理解度を把握できる	講師作成テスト	前回までの復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	損益分岐点分析と利益率、原価率を併せた理解度について小テストでチェックし、理解を促す。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			